

「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」

進捗レポート（2022年度実績）

■ 対象範囲

ヤクルトグループの食品・飲料、医薬品および化粧品の生産に

必要な原材料調達に関わる国内外のすべての連結事業所

■ 対象原材料

- ① 紙・パルプ ② パーム油 ③ 大豆 ④ 乳製品



「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」の進捗状況（乳製品を除く※）

森林関連 コモディティ・ 消費量	森林破壊・土地 転換がないと 検証された割合	説 明
紙・パルプ 9,085.0t	24.7%	ヤクルト本社が販売する清涼飲料に使用されている紙容器の多くは、FSC認証紙・PEFC認証紙への切り替え対応が済みであり、コミットメントの対象範囲としてはおよそ24.7%が認証品であるため、この割合を森林破壊・土地転換がないと検証された量の割合としています。（ライセンス番号:FSC [®] N003728）
パーム油 160.2t	0.0%	2022年3月末時点では第三者認証を受けたパーム油の使用がありませんが、今後切り替え等を進め、パーム油の使用による森林破壊・土地転換の有無を検証する予定です。
大 豆 2,764.8t	66.0%	当社グループで製造・販売する調製豆乳・豆乳飲料の一次原料として大豆を使用しています。そのうち、森林破壊・土地転換リスクが低い日本産の大豆の使用量が66%を占めており、この割合については、コモディティ使用に起因する森林破壊・土地転換がないと捉えています。

※ 乳製品に関する進捗状況は現在情報収集段階であるため